

ロシア東欧 経済速報

(社)ロシア東欧貿易会

2003年(平成15年)5月25日号 No.1261

目次

驚異的な伸びをみせるロシアの携帯電話市場	坂口 泉 1
エトセトラ	10
モスクワ・メルマガNo.17(パイオ特集)発行のお知らせ / 10	
新刊案内 月出校司編『ロシア<通>になるための常識15章』 / 11	
ロシア東欧貿易会関連の行事予定	11
CIS・中東欧諸国通貨の為替レート	11

驚異的な伸びをみせるロシアの携帯電話市場

はじめに

ロシアの携帯電話市場では非常に好調な状況が続いており、2002年の1年間で加入者数は約1,000万人も増加し、約1,800万人に達した。特に地方(モスクワおよびサンクトペテルブルグ以外の地域)での加入者数の伸びは著しく約3倍の伸びを記録した。

現在、モスクワやサンクトペテルブルグでは拡大フェーズが最終段階に入ったことを示す兆候が出始めているが、地方部では、まだ拡大フェーズが続く可能性が高い。このような市場の活況ぶりと並行して、モスクワを拠点とする大手事業者による地方の事業者の買収という形での業界の再編も急ピッチで進行している。本稿では、ダイナミックな動きを示すロシアの携帯電話市場の現状を報告する。

1. 全般的状況

加入者数の推移 サンクトペテルブルグでロシア初の携帯電話事業者がサービスを開始したのは1991年のことであったが、当時の加入者数はロシア全体でわずか500人程度であった。その後も加入者数はあまり伸びず、加入者数が100万人を超えたのは1999年になってからであった。しかし、2000年以降、ロシア経済の状況が急激に改善されたことや、大手事業者が料金の値下げによる加入者の大幅拡大という戦略をとり始めたこともあり、加入者数は急激に増加している(第1図)。